

第9回 耐火物の基礎学問研修

耐火物の基礎学問

耐火物並びに同関連産業の社員として働き始めた、或いは、中途採用で就職して期間が短い皆さんを対象として、耐火物の基礎技術を学ぶ研修会を開催します。

関係各方面から多数の御参加がいただけますよう御案内します。

<主催> : 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団

<共催> : 耐火物技術協会中国四国支部、日本セラミックス協会中国四国支部

■ 開催日程 : 平成28年10月 6日(木) ・ 7日(金)

■ 会場 : 岡山セラミックスセンター セミナー室 (備前市西片上 1406-18 TEL 0869-64-0505)

定員 :	耐火物の基礎講座 I	耐火物の基礎講座 II	計
	80名	80名	延べ160名

※ 収容人数とテキスト在庫に限りがありますので、定員に達した時点で締め切ります。

参加費 :	区分	耐火物の基礎講座 I	耐火物の基礎講座 II
	会員		3,600円
会員外		7,200円	7,200円

※参加費に消費税、昼食代を含む。

■ テキスト代 : 1,540円 (含む消費税) (TAIKABUTSU 入門書第3版)

※但し、持参の場合は不要(下記※4)参照)

※1) 申込時に主催・共催団体の会員の有無をお示し下さい。

※2) 必要な講座のみ選択して御参加いただけます。

※3) 参加費は、当日受付にてお受けいたします。事前のお振込を御希望の場合は、申込書3. 請求書発行に○印と振込予定日を記載して御連絡下さい。

※4) 主なテキストは「TAIKABUTSU 入門書」を使用します。当日ご持参頂いた方はテキスト代は不要となります。但し、当日のみのテキスト貸出はできません御了承下さい。

■ 当日持参物 : 全日程・筆記用具、ノートを持参、服装は、原則として会社の制服を着用下さい。

■ 注意事項 : 開始10分前には、会場に集合下さい。また、万一欠席される場合は、御一報いただくと共に代理の方の御派遣をお願いします。

■ 申込方法 : 申込書に必要事項を御記載の上 FAX又はメールにて、平成28年 9月26日(月)までに事務局へお申し込みください。

〒705-0021 備前市西片上 1406-18

(一財)岡山セラミックス技術振興財団 担当 : 川端裕美 (かわばた)

TEL 0869-64-0505 FAX 0869-63-0227 Email : erazoku@optic.or.jp

■ プログラム

日	時 間	内 容
耐火物の基礎講座 I	10:30-10:35	開会あいさつ 一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団 理事長 吉 鷹 啓
	10:35-12:35	講義 1 「耐火物に用いられる各種原料の種類と用途」 講義 2 「耐火物の種類と特性」 品川リフラクトリーズ株式会社 西日本工場 岡山製造部技術室 主任部員 富 谷 尚 士
		耐火物に用いられる原料の種類、用途および耐火物の種類と特性について TAIKABUTSU 入門書や写真を用いて解説する。
	12:35-13:20	昼食休憩
	13:20-14:50	講義 3 「耐火れんがの基礎と応用」 株式会社ヨータイ 技術研究所 次 長 熊 安 隆
		TAIKABUTSU 入門書の内容に沿って、耐火れんがの基礎と応用について講演する。
	14:50-15:00	休憩
	15:00-16:30	講義 4 「不定形耐火物の基礎と応用」 日本特殊炉材株式会社 技術部 課 長 遠 藤 善 康
不定形耐火物の生産量は、耐火物全体の約 7割近くを占めており、キャストブルは、その中の半分近くを占める重要な品種である。不定形耐火物の中のキャストブルを中心に、プラスチック、モルタル施工、不定形耐火物に使用される結合材について解説する。		
16:30-17:15	機器紹介と見学「岡山セラミックスセンター」 希望者のみ対象/申込書に記載	
	日本で唯一の耐火物に関する公的研究機関「岡山セラミックスセンター」の設置機器を紹介する。	
耐火物の基礎講座 II	9:00-10:30	講義 5 「耐火物製造プロセス技術」 黒崎播磨株式会社 窯炉製造事業部備前転炉工場 備前生産技術グループ マネージャー 藤 田 基 成
		耐火物製造プロセスは、定型耐火物が概ね、原料の粉碎、混合、混練、成形から行われる。不定形耐火物は、原料の秤量、混合でつくられる。成形でのバインダー特性、工程のエネルギー、環境対策、品質管理は製造プロセスでの重要なポイントとなるこれらを紹介する。
	10:30-10:35	休憩
	10:35-12:05	講義 6 「耐火物の用途」 品川リフラクトリーズ株式会社 技術研究所 第一研究部 第二研究室長 小 宅 民 淳
		鉄鋼製造、セメント製造、ガラス製造、廃棄物処理、非鉄金属製造についてプロセス概要を説明し、そこに使用されている耐火物を紹介しします。
	12:05-12:50	昼食休憩
	12:50-14:20	講義 7 「耐火物の試験評価技術概説」 (一財)岡山セラミックス技術振興財団 元班長 朝 倉 秀 夫
耐火物には、各種窯炉の操業条件にあわせて多様な機能と特性が求められるため、その試験評価法も多岐にわたる。これら耐火物の試験評価法には、試験所が違っても同質の結果が保証される JIS 規格や ISO 規格などの公定法と公定法以外の試験法がある。TAIKABUTSU 入門書と講演者が経験した事例や発表資料などもまじえながら講演する。		
14:20-14:25	休憩	
14:25-15:55	特別講演 「鉄鋼業界の 100年の歩みとその将来展望」 一般社団法人日本鉄鋼協会 業務執行理事 専務理事 脇 本 眞 也 日本鉄鋼協会は、大正 4 年(1915 年)に設立され、2015 年をもって創立百周年を迎えました。協会創立当時の我が国の粗鋼生産量は、約 25 万トン程度で鉄鋼材料の多くを輸入に頼っておりました。現在では、国内粗鋼生産量が 1 億トンを超える時代を迎えておりますが、この百年間の歴史を振り返ると共に将来に向けて、さらに付加価値の高い鉄鋼材料の研究開発に取り組んでいる我が国鉄鋼業の姿を紹介しします。	

FAX 0869-63-0227 川端 宛 平成28年 9月26日 (月) まで

第9回 耐火物の基礎学問研修 参加申込書

平成 年 月 日

〒 -

住所
申込者 社名
申込者
TEL

FAX

案内のあった研修会へ次のとおり参加を申し込みます。

1. 会員の確認 (該当社/者は会員価格で御参加いただけますので必ずお示してください。)

団 体 名	会員は○印
(一財)岡山セラミックス技術振興財団/耐火物技術協会中国四国支部/日本セラミックス協会中国四国支部	

2. テキスト ※当日、「TAIKABUTSU入門書」を持参される場合はテキスト代は不要です。この場合は「持参」の欄に○印ください。

3. 請求書発行の要求

請求書発行 依頼 (←○印してください) / 振込予定日 平成 年 月 日

<参加する日に○印> <持参の場合○印> <参加は○印>

No.	氏名	所属	I 10/6 木	II 10/7 金	TAIKABUTSU 入門書持参	10/6 OCC 見学
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						